

（西暦） 2024年 7月 2日

急性骨髄性白血病の抗がん剤治療や同種移植のため当院に入院されていた

60歳以上の患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

移植技術の向上で、同種移植を受ける患者さんの年齢も拡大しており、高齢患者さんが症状の観察や症状の管理を自身で行うことができるように支援をしていく看護師の役割が重要となっています。今回、抗がん剤治療が予定されている高齢患者さんに対して、口腔粘膜炎予防を目的に看護介入を行なった患者さんの事例を APBMT（The Asia Pacific Blood and Marrow Transplantation）学会にて発表したいと考えております。介入をさせていただいた患者さんの口腔ケア行動の変化や血液データ、口腔ケアのスコアを電子カルテから利用させていただきたいと思っております。

対象

西暦2015年10月より2016年1月までの間に、血液内科にて急性骨髄性白血病の診断のため入院し、抗がん剤治療を受けた60歳以上の方

【試料・診療情報等の項目】

試料：なし

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、血液データ、Oral Assessment Guide(OAG)スコア

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される試料・診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、菊田 美穂 までご連絡をお願いします。

研究課題名

Nursing interventions to support self-care of elderly patients undergoing HSCT

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合にのみ参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

許可日～2024年10月31日

看護上の貢献

学会での看護介入の事例発表により、看護師が「がん治療を受ける」高齢患者さんへのケア介入の方法が理解でき、看護師の症状に対するケア行動が変わる可能性があります。看護への貢献、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 血液内科

【研究責任者】所属 9AB 職名 看護師 氏名 菊田 美穂

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

菊田美穂 看護師 kikuta-m@hamanomachi.jp

以上